

エコアクション21
環境経営レポート



旭ブロック建設株式会社

対象期間 : 2024年 4月 1日～
2025年 3月 31日

発行日 : 2025年 6月 1日


作成者 : エコアクション21運用チーム



認証番号0007492

目次

	ページ
1. 組織の概要	P.1
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	P.2
3. 環境経営方針	P.3
4. 環境管理組織体制	P.4
5. 環境経営目標	P.5
6. 環境経営計画	P.6
7. 環境経営目標の実績	P.7
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	P.8 P.9~11
9. 次年度の環境経営計画の取組内容	P.12
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P.13
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.14



発行日:2025年 6月 1日

発行責任者:環境管理責任者 横田 和哉

次回発行予定:2026年 6月頃

1. 組織の概要

【事業所名】 旭ブロック建設株式会社

【代表者氏名】 代表取締役 寺尾 正生 旭ブロック建設株式会社

【所在地】 旭ブロック建設株式会社

本社：〒781-8010 高知県高知市棧橋通4丁目15番23号
長浜事業所：〒781-0270 高知県高知市長浜3103番地 長浜産業団地
南国工場：〒783-0081 高知県南国市片山39-8

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 横田 和哉 所属：旭ブロック建設株式会社
連絡先担当者 西本 麻恵 所属：旭ブロック建設株式会社

連絡先

TEL: 088-813-1235

FAX: 088-813-4321

E-mail: k_yokota@asahi-block.com

【事業活動の内容】

	旭ブロック建設株
建設業	主に建築工事、土木工事
建設業許可/番号	高知県知事（特-4）第1935号
許可年月日	令和4年9月30日～令和9年9月29日迄
建設業の種類	土木、建築、大工、左官、とび・土工、石、屋根、タイル・レンガ・ブロック、鋼構造物、鉄筋、ほ装、浚渫、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、熱絶縁、建具、水道施設、造園、解体
事業活動	製造業（コンクリート2次製品）・外構資材卸売業

【事業規模】

旭ブロック建設株

設立年月日 昭和32年10月7日

資本金 20,000,000円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
製品生産量・出荷額（売上高）（百万円）	2,700	2,500	2,082
従業員数（名）	49	49	47
事業所敷地面積（m ² ）	6314.70		
事業所延べ床面積（m ² ）	1802.31		
会計年度	4月～3月		従業員数は4月1日現在

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

旭ブロック建設株式会社

本社：高知県高知市棧橋通4丁目15番23号

長浜事業所：高知県高知市長浜3103番地 長浜産業団地

南国工場：高知県南国市片山39-8

活動

コンクリート製品製造業及び建設用資材・エクステリア関連資材の卸売販売、
建設業（土木、建築、大工、左官、とび・土工、石、屋根、タイル・レンガ・ブロック、鋼構造物、
鉄筋、ほ装、浚渫、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、熱絶縁、建具、水道施設、造園、解体）

	旭ブロック建設株
本社	○
長浜事業所	○
南国事業所/南国工場	○

【レポートの対象期間】

2024年4月1日～2025年3月31日

【環境経営レポートの発行日】

2025年6月1日

【作成責任者】

環境管理責任者 横田 和哉

3. 環境経営方針

環境経営理念

旭ブロック建設株式会社は、“自然浴”（後世に引継げる心豊かな環境創り）を理念に地球環境と人々の住生活の調和と向上に向け、全社を上げて取組み、全ての社員が一丸となり何をすべきかを考え、実行し成長し続けながら社会と地域に貢献する会社として責任を果たします。

環境経営方針

1. 現場等については重機及び車両を経済的に利用する事により燃料使用量を削減し、事務所等については電力量を抑える事により二酸化炭素排出量を削減します。
2. 本社業務及び現場作業において廃棄物の「減量」「再使用」「再利用」を心掛けます。
3. 本社業務及び現場作業において水資源を必要最低限に抑えます。
4. グリーン購入を進める事で環境負荷の少ない事業活動を行います。
又、取扱商品に関してもエコロジー商品の販売を推進します。
5. 地域周辺に対するボランティア活動に積極的に参加します。
6. 全社員に対し「環境経営理念」「環境経営方針」を全体会や朝礼、掲示板などにより周知徹底させ、環境に対する取り組みの重要性を高めます。
7. 環境関連法規並びに条例を遵守します。
8. 前述1～7に関して継続的な改善を行い環境負荷を削減し、環境経営を行っていきます。
9. 環境経営レポートを作成し、外部に公表します。

制定日：2011年 9月 8日

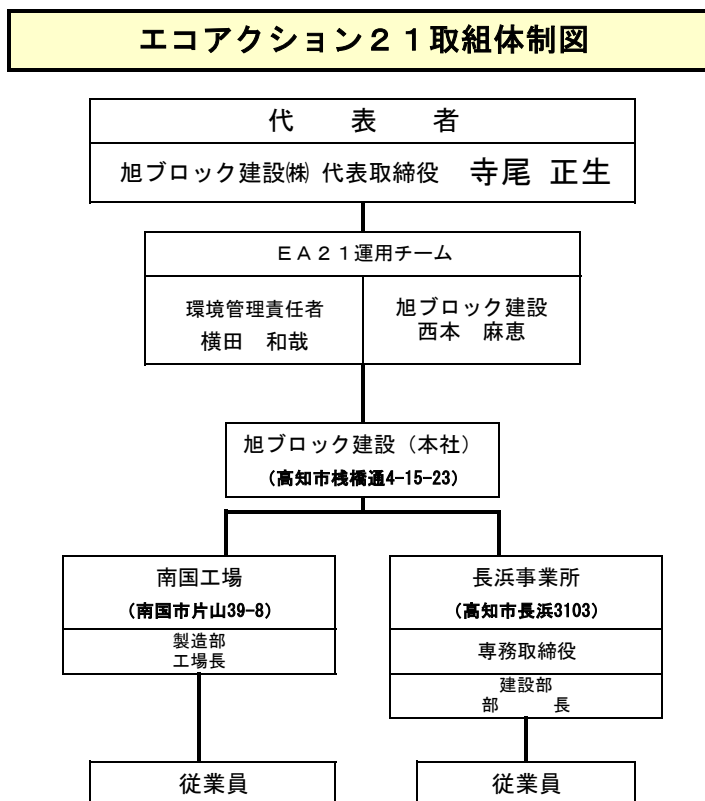
改定日：2019年 3月 1日

旭ブロック建設株式会社

代表取締役



4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割 ・ 責任 ・ 権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境管理責任者の選任 環境経営方針の策定、見直し及び全社員への周知 環境経営目標、環境経営計画、環境管理組織体制の承認 全体の評価と見直し 環境経営レポートの承認 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者等を準備 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境経営目標、環境経営計画、環境管理組織体制の確認 環境経営システムの評価と見直し及び代表者への報告 環境関連法規等とりまとめ表に基づく評価の実施 環境経営レポートの確認
E A 2 1 運用チーム	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の自己チェック 環境経営目標、環境経営計画の策定及びとりまとめ 各データ集計 環境経営レポートの作成と公開 外部コミュニケーション窓口 環境関連法規等とりまとめ表作成 環境経営計画の実施及び実施状況の報告 チーム内での周知及び教育と環境経営システムの実施管理 チーム内での問題点の発見、是正、予防処置の実施
部門責任者 (南国工場、長浜事業所)	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムに基づく各種活動の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解及び行動

5. 環境経営目標

(1) 単年度目標

項目	単位	基準値 R3~R5 平均値を基準とする	R6年度 目標 R06.4-R07.3
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	309,233	268,983
一般廃棄物排出量	(t)	0.52	0.47
産業廃棄物排出量	(t)	1,916	1,952
水使用量	(m ³)	242	192
グリーン購入量	(千円)	284	280
環境負荷の少ない工事	(件)	44	33
環境配慮型商品販売量	(千円)	—	新製品開発 (完成)

* 1. 電力のCO₂排出量については令和5年1月24日公表の調整後排出係数を以下の通り使用した。

リコージャパン(株) 調整後排出係数0.462 (kg-CO₂ / kWh)

四国電力(株) 調整後排出係数0.464 (kg-CO₂ / kWh)

* 2. 環境負荷の少ない工事

大和ハウス工業株式会社の新築工事を弊社の環境負荷の少ない工事として記録する。

【住宅現場における大和ハウス工業(株)のゼロエミッション活動】

大和ハウス工業の住宅新築現場では、新築工事における建設副産物のリサイクル維持を目的として、「工場デポ」というシステムを構築し、令和6年度も住宅新築現場および工場のゼロエミッションを維持・継続している。

* 3. 環境配慮型商品販売

昨年、環境配慮型商品販売元である旭環境スポーツ施設がエコアクション参加取りやめとなった。

このため、当社における環境配慮型商品の販売量を目標とするが、対象となる新製品を開発中であり、完成・販売後、数値目標を設定する。

* 4. R2~4年度実績を踏まえ、3か年または2か年の平均値（ただし、環境負荷の少ない工事については、従来に比べて工事件数が相当減少している状況を踏まえ、過去3年間の最も低い値）を基準値とし、単年度目標と中長期目標の見直しを図った。

* 5. 化学物質については、使用の実態がないため、目標を設定していない。

(2) 中長期目標

項目	単位	基準値 R3~5平均値	R06年度 目標	R07年度 目標	R08年度 目標	R09年度 目標
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	309,233	268,983	267,983	266,983	265,983
一般廃棄物排出量	(t)	0.52	0.47	0.46	0.45	0.44
産業廃棄物排出量	(t)	1,916	1,952	1,942	1,932	1,922
水使用量	(m ³)	242	192	182	172	162
グリーン購入量	(千円)	284	280	290	300	310
環境負荷の少ない工事	(件)	44	33	34	35	36
環境配慮型商品販売量	(千円)	—	新製品開発 (完成)	-	-	-

6. 環境経営計画

期間：令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

項目		活動内容	担当者
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○エコドライブ推進（急発進・急加速の禁止等） ○法定速度の遵守 ○車に余計な荷物を積まない 	横田 営業
	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○不在部所の消灯 ○NO残業DAYの実施（毎週木曜日） ○PCのスリープ機能活用 ○エアコンの温度設定管理（夏：28℃、冬：20℃）※1 ○サーキュレーターの活用（長浜事業所） 	各部 西本
廃棄物削減	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○オンデマンド印刷機能活用と電子化による印刷物削減 ○【紙類】新聞紙・OA用紙・段ボール・雑誌 ・カタログ類のリサイクル推進 ○【可燃ごみ】排出可燃ごみの削減と分別の徹底。（可燃・プラスチック） 	西本
	産業廃棄物（現場）	<ul style="list-style-type: none"> ○産業廃棄物の適正な処分 ○工事の端材を少なくする ○焼却炉使用による産廃処理費用のコストダウン ○資材の長期使用 ○産業廃棄物はできるだけ再資源化業者に委託する 	営業
水使用量削減（排水量削減）		<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な蛇口パッキン等の老朽化チェック ○水道水の適正使用と検針時の異常値モニタリング 	西本
グリーン購入		<ul style="list-style-type: none"> ○Net RICH0 を活用し、グリーン購入に努める ○オフコムを活用し、グリーン購入に努める ○トナーカートリッジのリサイクル 	西本
環境負荷の少ない工事（現場）		○大和ハウス工業株式会社の住宅新築工事※2	営業
環境配慮型商品販売		○対象となる新製品の試作品の作成	
地域貢献活動		<ul style="list-style-type: none"> ○ロードボランティア実施 ○高知県建設業協会建築部会清掃ボランティア参加 	従業員
エコロジー教育		<ul style="list-style-type: none"> ○毎月発行される社内報にて2カ月に1回、省エネ方法やエコ商品の紹介記事を掲載する。 ○6月をエコ月間とし、朝礼一言コメントで個々の実践しているエコ活動を発表をする。 	横田 西本

※1 夏季6～9月 冬季12月～3月
上記以外は通年とする。

※2大和ハウス工業の新築工事の住宅現場では、建設副産物のリサイクル維持を目的とした「工場デポ」システムの構築により、現場および工場のゼロエミッションを維持継続している。

7. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	単位	H23年度 (基準年) H23.4-H24.3	R05年度 実績 R05.4-R06.3	R6年度 目標 R06.4-R07.3	R6年度 実績 R06.4-R07.3	目標値/実績 値 (%)	評価
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	284,103	267,994	268,983	224,667	120%	○
一般廃棄物排出量	(t)	1.18	0.49	0.47	0.46	102%	○
産業廃棄物排出量	(t)	20,944	1,883	1,952	1,168	167%	○
水使用量	(m ³)	406	231	192	159	121%	○
グリーン購入量	(千円)	302	286	280	319	114%	○
環境負荷の少ない工事	(件)	—	10	33	27	82%	×
環境配慮型商品販売量	(千円)	10,233	新製品開発 (試作品作成)	新製品開発 (完成)	—	—	—

* 1. 電力のCO₂排出量については令和7年3月18日公表の調整後排出係数を以下の通り使用した。(R5年度実績)

リコージャパン(株) 調整後排出係数0.462 (kg-CO₂ / kWh)

四国電力(株) 調整後排出係数0.464 (kg-CO₂ / kWh)

* 2. 環境負荷の少ない工事

○大和ハウス工業株式会社の新築工事を弊社の環境負荷の少ない工事として記録する。

【住宅現場における大和ハウス工業(株)のゼロエミッション活動】

大和ハウス工業の住宅新築現場では、新築工事における建設副産物のリサイクル維持を目的として、「工場デポ」というシステムを構築し令和6年度も住宅新築現場および工場のゼロエミッションを維持・継続している。

* 3. 環境配慮型商品販売

1昨年、環境配慮型商品販売元である旭環境スポーツ施設がエコアクション参加取りやめとなった。

このため、当社における環境配慮型商品の販売量を目標とするが、対象となる新製品を開発中であり、完成・販売後、数値目標を設定する。

* 4. R2~4年度実績を踏まえ、3か年または2か年の平均値(ただし、環境負荷の少ない工事については、従来に比べて工事件数が相対減少している状況を踏まえ、過去3年間の最も低い値)を基準値とし、単年度目標と中長期目標の見直しを図った。

* 5. 化学物質については、使用の実態がないため、目標を設定していない。

<環境目標未達成理由>

未達項目

◆環境負荷の少ない工事

工事減少の為、目標未達となった。今後もゼロエミッションを維持・継続していく。

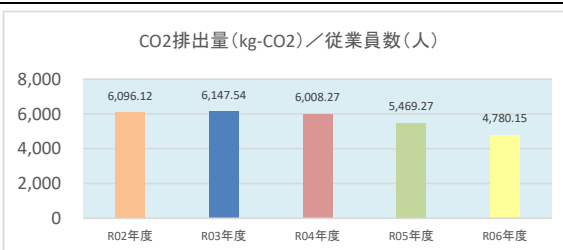
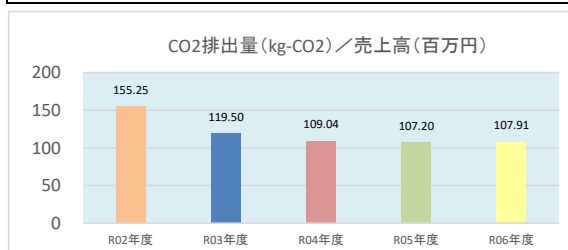
(2) 過去5年間の売上高(百万円)、従業員数(人)当たりのCO₂排出量推移

	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	365,767	375,000	294,405	267,994	224,667
売上高(百万円)	2,356	3,138	2,700	2,500	2,082
従業員数(人)	60	61	49	49	47
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂) / 売上高(百万円)	155.25	119.50	109.04	107.20	107.91
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂) / 従業員数(人)	6,096.12	6,147.54	6,008.27	5,469.27	4,780.15

<コメント>

売上高と従業員数の原単位の排出量の推移において、売上高当たりのCO₂排出量が、前年比わずかに増加(107.2→107.91)しているも、継続したエコアクション21の活動成果があったと判断したい。

環境管理責任者 横田 和哉



8. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2024年4月 ～ 2025年3月

作成日：2025年6月1日

項目	活動内容	取組結果	評価	見直し	
CO2排出量削減	燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○エコドライブ推進（急発進・急加速の禁止等） ○法定速度の遵守 ○車に余計な物を積まない 	<p>E A 2 1 運用チームから全社員に徹底させた。</p> <p>各部署長が営業に徹底させた。</p>	<p>燃費の数値化までは至っていないが、部署長からの声掛けだけでなく、朝礼や全体会等でも啓発を行い、エコドライブの意識は継続できている。</p> <p>安全協議会などでもエコドライブを呼びかけ、専属職人にも燃料使用量削減の啓発を行う。また社有車入れ替え時の車種検討時には燃費性能も考慮して、より環境負荷の少ない車種選定をする。</p>	
	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○不在部所の消灯 ○NO残業DAYの実施（毎週木曜日） ○PCのスリープ機能活用 ○エアコンの温度設定管理（夏：28℃、冬：20℃） ○サーキュレーターの活用（長浜事業所） 	<p>不在部所の消灯徹底や、長時間離席時にはPCのモニターをOFFにするなどの節電に努めた。またNO残業DAYには各部署長が声かけし残業抑制に努めた。</p>	<p>取組みの徹底度は継続できているが、暖房の切り忘れによる退社があり、最終退出者の声かけ、チェックを全体会で周知した</p> <p>前年度の取り組みを継続しながら、長浜事業所の電力使用量の推移を今後も定期的にモニターし、早期に効果的な電力使用抑制策を策定する。特に低圧電力については、早急に料金見直しを検討する。</p>	
廃棄物削減	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○「おげまど」印刷機能活用と電子化による印刷物削減 	PDF保管と会議時の「おげまど」使用を徹底した。	<p>計画通りの活動ができており、再資源化ゴミのリサイクルを徹底する意識が高まっている。段ボール回収業者の回収率が非効率にならないよう棧橋と長浜で連携し、当日の回収ルートにうまく組み込んでもらう等の工夫ができて、間接的に業者の省エネにも貢献できた。</p> <p>今年度より排出量の把握をするよう検討したい。</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> ○【紙類】新聞紙・OA用紙・段ボール・雑誌・カタログ類のリサイクル推進 	<p>雑紙：(南高知果古紙センター) (1回/月)</p> <p>段ボール：マルコ (田原工業) (4回/月)</p> <p>によりリサイクルを徹底した。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ○【可燃ごみ】排出可燃ごみの削減と分別の徹底。（可燃・プラスチック） 	排出ごみの重量計測と、毎計測時にごみ分別に誤りがないかチェックを徹底し、誤投入時は翌日の朝礼で報告し、分別の徹底を促した。			
	産業廃棄物 (現場)	<ul style="list-style-type: none"> ○産業廃棄物の適正な処分 ○工事の端材を少なくする ○焼却炉使用による産廃処理費用のコストダウン ○資材の長期使用 ○産業廃棄物はできるだけ再資源化業者に委託する 	各部署長が営業に徹底させた。	適正に処分出来ている。	次年度も引き続き適正な廃棄物処理を継続する。
用水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な蛇口パッキン等の老朽化チェック ○水道水の適正使用と検針時の異常値モニタリング 	<p>定期的実施した</p> <p>節水を啓発するシールを食堂に掲示した。</p>	<p>定期的な使用量モニタリング（長浜）を行ったが未達成となった。節水に対する取組は共有し実行できている。</p>	屋外の使用（散水や敷地内清掃等）でも節水を呼び掛ける。	
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ○Net RICH0 を活用し、グリーン購入に努める ○オフコムを活用し、グリーン購入に努める ○トナーカートリッジのリサイクル 	<p>昨年に引き続きNetRICH0とオフコムを活用し、グリーン購入に努め、詰替え商品にできるものは全て詰替え商品を購入した。</p>	優先的なグリーン購入が継続できている。	次年度も積極的なグリーン購入を継続する。	
環境負荷の少ない工事（現場）	<ul style="list-style-type: none"> ○大和ハウス工業株式会社の住宅新築工事 	建設副産物のリサイクル維持をしている。	工事件数減少により未達成。ゼロエミッションの維持継続は図っていく。	次年度も継続し件数増加を目指す。	
環境配慮型商品販売	<ul style="list-style-type: none"> ○環境配慮型商品に向けての試作 	現在、新製品を試作中である。	試作段階ではあるが、新製品完成に向けて取り組むことができた。	環境配慮型商品完成に向けて継続して取り組む。	
地域貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ロードボランティア実施 ○高知県建設業協会建築部会清掃ボランティア参加 	<p>年11回延22名で実施した。</p> <p>年2回のボランティア活動参加を行った。</p>	<p>ロードボランティア活動は天候による延期はあったが、ほぼ計画通りの活動ができた。</p>	次年度もボランティア活動等に積極的に参加し、環境に影響する事態を想定した訓練も定期的実施する。	
エコロジー教育	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月発行される社内報にて2カ月に1回、省エネ方法やエコ商品の紹介記事を掲載する。 ○6月をエコ月間とし、朝礼一言コメントで個々の実践しているエコ活動を発表する。 	旭フォーラムのエココーナーにて省エネ方法やエコ商品の紹介をし環境意識を高めた。	エコに関する情報を多方面から収集し定期的に発信することで、社員の意識高揚が図れている。	次年度も引き続き旭フォーラムを活用し情報発信をしていく。	

具体的な取組状況

1. CO2 排出量削減

(1) 家庭でもできる省エネ活動の推進 (全社)

社内報 “旭フォーラム” でのエコ情報発信活動をし、会社や家庭でもできるエコ活動を紹介しました。

ABK eco通信

暑い夏がまだまだ続きますが、少しでも節電をして家計にも優しく夏を乗り越えたいものです。そこで今回はエコにも繋がる夏にできる節電方法を少しご紹介させていただきます。

★エアコンは室内の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で設定温度を上げる方法が有効です。たとえば設定温度を26℃から2℃上げると、1.6%~5.4%の節電効果があります。また目詰まりしたフィルターを清掃すると効率があがり、0.6%~1.9%の節電につながります。このほか、夏はすだれやカーテンなどを使って窓からの直射日光を防ぐことも室内の温度を低く抑えることに役立ちます。

★冷蔵庫も、温度設定をするためのつまみやボタンを「強」から「中」にしたり、扉を開ける時間を減らす事、食品を詰め込みすぎないようにする事で1.2%~1.8%の節電効果が得られます。さらに冷蔵庫は庫内を冷やすために使った熱を背面や側面などから排出していますので、冷蔵庫と壁との間に適切な間隔を空けておくことも省エネにつながります。

ゴミ?リユースできるかも!

高知市連携事業の不用品リユースサービス「おいくら」って知っていますか?

ゴミとして廃棄する場合にかかる廃棄費用や処理券の購入費用、指定場所への運搬などの手間も、おいくらなら自宅まで買取にきてくれたり(※買取店によりサービスが異なります)、売れたお金で家計の負担も軽減できます☆

この年末年始の大掃除で出たご家庭の不用品は廃棄前にリユースの検討をしてみませんか?

廃棄物の削減で捨てない暮らし・サステナブルな取り組みをしていきましょう!

◆高知市公式ホームページ
<https://www.city.kochi.kochi.jp/>
 より一部引用しております。◆

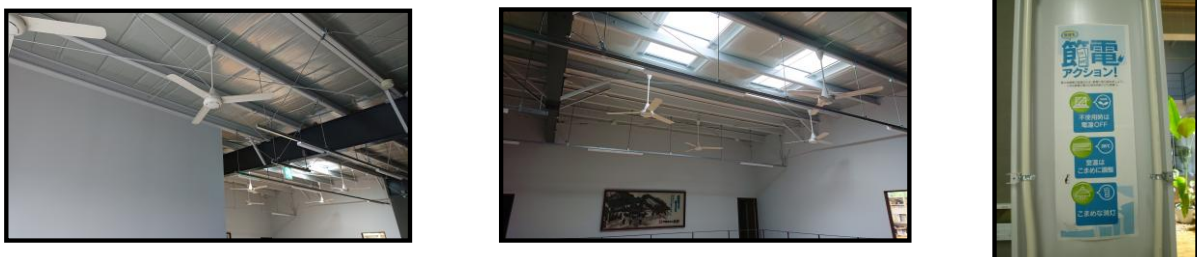
(2) 南国事業所へ焼却炉の設置

R2.12より南国事業所に焼却炉を設置し廃棄物処理コスト削減に取り組んでいます。今後も焼却炉を使用し、高騰しつつある産廃処理委託料金を削減へ取り組みたいです。



(3) 電力使用量削減 (全社)

サーキュレーターを5台設置し、天井付近に溜まりがちな暖気を動かし、部屋の空気を効率よく循環させています。朝礼や掲示物等で事務所内の節電について啓蒙し、社内電力使用量の削減に努めました。



2. ごみの分別徹底と用紙使用量削減

《ごみの分別徹底と古紙回収推進》

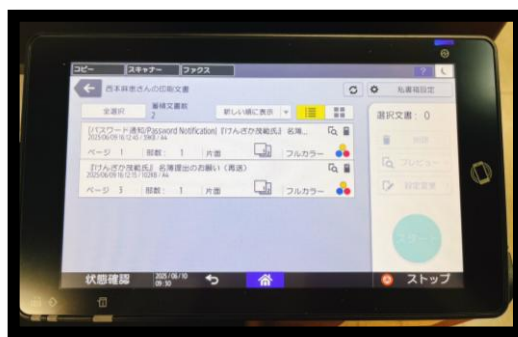
ゴミは可燃物・不燃物・プラスチックの分別を徹底し排出時の重量測定を行ってゴミ抑制を呼びかけています。また使用済の用紙は一般と機密に分類し、情報漏えいの防止を図りながら古紙回収を推進しています。



《オンデマンド印刷機能で無駄な出力を抑制》

(新型複合機：2025年4月 長浜事業所設置)

プリントは自動出力せず、画面操作で必要分のみ出力します。これにより、誤った出力指示による紙の無駄を防止しています。(unnecessary data is deleted on the screen)



3. グリーン購入

《事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入》

前年度から引き続き事務用品はエコマーク・グリーンマーク



4. 環境負荷の少ない企業活動

《『COOL CHOICE』に参加》

地球温暖化対策の国民運動「COOL CHOICE」に継続して取り組み、EA21運用チームから従業員への周知と、社内での一般廃棄物削減や節電節水の呼びかけなど、掲示板で定期的に発信し社員の省エネに対する意識高揚を図っています。



5. 環境美化活動

《ロードボランティア活動》（2024年4月～2025年2月で毎月1回 年11回実施）

桂浜はりまや線 棧橋四丁目～五丁目の区間で歩道および路側の清掃活動を行いました。



6. 環境に配慮した資材の使用

間伐材政策工事看板の使用



9. 次年度の環境経営計画の取組内容

期間： 令和7年4月～令和8年3月

項目		活動内容	担当者
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	○エコドライブ推進（急発進・急加速の禁止等） ○法定速度の遵守 ○車に余計な荷物を積まない（現場）	横田 営業
	電力使用量削減	○不在部所の消灯 ○NO残業DAYの実施（毎週木曜日） ○PCのスリープ機能活用 ○エアコンの温度設定管理（夏：28℃、冬：20℃）※1 ○サーキュレーターの活用（長浜事業所・旭環境スポーツ施設棟）	各部 横田
廃棄物削減	一般廃棄物	○オンデマンド印刷機能活用と電子化による印刷物削減 ○【紙類】新聞紙・OA用紙・段ボール・雑誌・カタログ類のリサイクル推進 ○【可燃ごみ】排出可燃ごみの削減と分別の徹底。（可燃・プラスチック）	西本
	産業廃棄物（現場）	○産業廃棄物の適正な処分 ○工事の端材を少なくする ○資材の長期使用 ○産業廃棄物はできるだけ再資源化業者に委託する ○焼却炉を有効活用し、産廃費用を削減	営業
用水使用量削減（排水量削減）		○定期的な蛇口パッキン等の老朽化チェック ○水道水の適正使用と検針時の異常値モニタリング	西本
グリーン購入		○Net RICH0 を活用し、グリーン購入に努める ○オフコムを活用し、グリーン購入に努める ○トナーカートリッジのリサイクル	西本
環境負荷の少ない工事（現場）		○大和ハウス工業株式会社の住宅新築工事※2	営業
環境配慮型商品販売		○対象となる新製品の試作品の作成	
地域貢献活動		○ロードボランティア実施 ○高知県建設業協会建築部会清掃ボランティア参加	従業員
エコロジー教育		○毎月発行される社内報にて省エネ方法やエコ商品の紹介記事を掲載する。 ○6月をエコ月間とし、朝礼一言コメントで個々の実践しているエコ活動を発表をする。	横田 西本

※1 夏季6～9月 冬季12月～3月
上記以外は通年とする。

※大和ハウス工業の新築工事の住宅現場では、建設副産物のリサイクル維持を目的とした「工場デポ」システムの構築により、現場および工場のゼロエミッションを維持継続している。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	不法投棄・不法焼却の禁止 事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	都度	管理 責任者	○	2025/6/1
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	都度	管理 責任者	○	2025/6/1
	第12条の十一	多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	管理 責任者	○	2024/6/1
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	都度	工事担当者	○	2025/6/1
	第12条の三 七項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 6月末	管理 責任者	○	2025/6/1
	第14条の12 項	産業廃棄物収集運搬の都道府県知事の許可（5年毎に更新） 産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分	期限切れ3カ月前 都度	管理 責任者	○	2025/6/1
規則第8条	保管場所の表示 見易い箇所に表示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	管理 責任者	○	2025/6/1	
騒音規制法	第5条 第14条	騒音規制基準の遵守 特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 都度	工事 担当者	○	2025/6/1
振動規制法	第5条 第14条	振動規制基準の遵守 特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 都度	工事 担当者	○	2025/6/1
資源の有効な利用の促進に関する法律	第4条	再生資源利用促進計画の作成 土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	都度	工事 担当者	○	2025/6/1
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材 廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を 使用する努力	都度	工事 担当者	○	2025/6/1
	第9条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上	都度	工事 担当者	○	2025/6/1
	第10条	○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	都度	工事 担当者	○	2025/6/1
建築物省エネルギー法	第19条	○年間150戸以上の一戸建住宅を新築する事業者（住宅業建築主） 特定住宅の性能向上（2020年度以降は一次エネルギー消費量の評価方法で15%の削減） ○300m ² 未満の所規模住宅・非住宅の建築士 省エネ性能適合義務	都度	工事 担当者	○	2025/6/1
大気汚染防止法（解体工事）	第18条の17	○解体等工事受注者は、石綿使用の有無について 事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で 説明するとともに、その結果等を解体等工事場所へ掲示	必要時	工事 担当者	○	2025/6/1
	第18条の18	特定粉じん排出等作業について作業基準を遵守する。	都度	〃	〃	〃
建築基準法	第28条の2	○石綿その他の物質の飛散又は発散に対する衛生上の措置 建築材料に石綿等の政令で定める有害物質を添加しない。 石綿等をあらかじめ添加した建築材料を使用しない。	都度	工事 担当者	○	2025/6/1
石綿障害予防規則	第6条	○吹き付けられた石綿等の除去等に係る措置 石綿等の除去等作業時は定められた作業手順を遵守する。	都度	工事 担当者	○	2025/6/1
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン：2,000ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	管理 責任者	○	2025/6/1
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 （指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵）	必要時	管理 責任者	○	2025/6/1
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	第5条	○定期点検の実施 エアコン：3.7kw以上50kw未満 冷蔵機器、冷凍機：3.7kw以上 第1種特定製品の実施と記録	年3回 年1回	管理 責任者	○	2025/6/1
浄化槽法	第10条 第11条	年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 年1回の水質検査の実施	年1回	管理 責任者	○	2025/6/1
高知県公害防止条例	第3条	○県、市町村、事業者及び県民は、高知県環境基本条例第3 条に定める環境の保全及び創造についての基本理念に則り、 公害の防止が図られるように、それぞれの立場において努め なければならない。	年1回	管理 責任者	○	2025/6/1
高知県環境基本条例	第6条	事業者の責務 ○事業者は、基本理念のっとり、その事業活動を行うに当 たっては、これに伴って生ずる公害を防止し、又は自然環境 を適正に保全するため、必要な措置を講ずる責務を有する。	都度	工事 担当者	○	2025/6/1
高知市環境基本条例	第5条	事業者の責務 ○事業者は、基本理念のっとり、その事業活動を行うに当 たっては、これに伴って生ずる公害を防止し、廃棄物を適正 に処理し、及び自然環境を適正に保全するために必要な措置 を講ずるとともに、環境の保全上の支障を防止するため、事 業活動に伴う環境への負荷の低減に努めなければならない。	都度	工事 担当者	○	2025/6/1
南国市環境基本条例	第5条	事業者の基本的責務 ○事業者は、基本理念のっとり、健全で快適な環境の確保 のために自らの立場を自覚し、自らの責任と負担において、 その事業活動に伴って生ずる公害を防止するために必要な措 置を講ずる責務を有するとともに、環境への負荷の低減に積 極的に努めなければならない。	都度	工事 担当者	○	2025/6/1

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2024年4月1日より2025年3月31日までの間、環境関連法規等の違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。
なお、関係当局より過去3年間、違反等の指摘はありません。

11. 代表者による全体評価と見直し・指示

■定期見直し
□臨時見直し

2025年6月1日
寺尾 正生

見直しに必要な情報				代表者による見直し																																	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項																																	
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 2024年4月1日～2025年3月31日の対象期間内に法令違反はありませんでした。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 2024年4月1日～2025年3月31日の対象期間内に是正処置及び予防処置はありませんでした。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 代表者からの前回指示事項はありませんでした。				【環境経営方針】 変更の必要性： □有 ■無 変更の必要性は無しと判断します。																																	
【目標・環境経営目標 経営計画の達成状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値/実績値 達成状況</th> <th>活動計画 達成状況</th> <th>達成状況に対するコメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO₂ 排出量 (kg-CO₂)</td> <td>268,983/224,667 ○</td> <td>達成</td> <td>達成率120%。引き続きCO₂削減を意識した取り組みを継続する。</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物排出量 (t)</td> <td>0.47/0.46 ○</td> <td>達成</td> <td>達成率102%。引き続き一般廃棄物の処理を意識して取り組む</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物排出量 (t)</td> <td>1,910/1,168 ○</td> <td>達成</td> <td>達成率167%で達成。引き続き産業排出の処理を意識して取り組む</td> </tr> <tr> <td>水使用量 (m³)</td> <td>192/159 ○</td> <td>達成</td> <td>達成率121%。引き続き用水の無駄遣いのないよう意識して取り組む</td> </tr> <tr> <td>グリーン購入量 (千円)</td> <td>285/319 ○</td> <td>達成</td> <td>達成率114%。引き続きグリーン購入を推進していく。</td> </tr> <tr> <td>環境負荷の少ない工事(件)</td> <td>45/27 ×</td> <td>未達成</td> <td>大和ハウス工業の新築工事減少により未達成。ゼロエミッション活動は引き続き継続中。</td> </tr> <tr> <td>環境配慮型商品販売量(千円)</td> <td>試作品作成 新製品開発(試作)</td> <td></td> <td>環境配慮型商品販売を行う旭環境スポーツ施設がエコアクションを取りやめとなった。現在、対象となる新製品を試作中である。</td> </tr> </tbody> </table>				目標項目	目標値/実績値 達成状況	活動計画 達成状況	達成状況に対するコメント	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	268,983/224,667 ○	達成	達成率120%。引き続きCO ₂ 削減を意識した取り組みを継続する。	一般廃棄物排出量 (t)	0.47/0.46 ○	達成	達成率102%。引き続き一般廃棄物の処理を意識して取り組む	産業廃棄物排出量 (t)	1,910/1,168 ○	達成	達成率167%で達成。引き続き産業排出の処理を意識して取り組む	水使用量 (m ³)	192/159 ○	達成	達成率121%。引き続き用水の無駄遣いのないよう意識して取り組む	グリーン購入量 (千円)	285/319 ○	達成	達成率114%。引き続きグリーン購入を推進していく。	環境負荷の少ない工事(件)	45/27 ×	未達成	大和ハウス工業の新築工事減少により未達成。ゼロエミッション活動は引き続き継続中。	環境配慮型商品販売量(千円)	試作品作成 新製品開発(試作)		環境配慮型商品販売を行う旭環境スポーツ施設がエコアクションを取りやめとなった。現在、対象となる新製品を試作中である。	【環境経営目標・経営計画】 変更の必要性： □有 ■無 ・引き続き活動計画に基づき目標達成に向けて社員全員で取り組む。	
目標項目	目標値/実績値 達成状況	活動計画 達成状況	達成状況に対するコメント																																		
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	268,983/224,667 ○	達成	達成率120%。引き続きCO ₂ 削減を意識した取り組みを継続する。																																		
一般廃棄物排出量 (t)	0.47/0.46 ○	達成	達成率102%。引き続き一般廃棄物の処理を意識して取り組む																																		
産業廃棄物排出量 (t)	1,910/1,168 ○	達成	達成率167%で達成。引き続き産業排出の処理を意識して取り組む																																		
水使用量 (m ³)	192/159 ○	達成	達成率121%。引き続き用水の無駄遣いのないよう意識して取り組む																																		
グリーン購入量 (千円)	285/319 ○	達成	達成率114%。引き続きグリーン購入を推進していく。																																		
環境負荷の少ない工事(件)	45/27 ×	未達成	大和ハウス工業の新築工事減少により未達成。ゼロエミッション活動は引き続き継続中。																																		
環境配慮型商品販売量(千円)	試作品作成 新製品開発(試作)		環境配慮型商品販売を行う旭環境スポーツ施設がエコアクションを取りやめとなった。現在、対象となる新製品を試作中である。																																		
<改善提案> 各サイト(長浜・南国)独自の取り組みを検討する				【実施体制の見直し】 変更の必要性： □有 ■無 変更の必要性は無しと判断します。																																	
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より 2024年4月1日～2025年3月31日までの間、外部からの苦情・要望等はありませんでした。 ②内部コミュニケーション記録より 6月をエコ月間とし、朝礼一言コメントで個々の実践しているエコ活動を発表し、エコへの意識を高めた。 <改善提案> なし				【その他】 変更の必要性： □有 ■無 変更の必要性は無しと判断します。																																	
代表者が自ら得た情報 ・環境省ホームページ ・エコアクション事例(エコアクション中央事務局HP)				【総括】 (環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載) 社員にエコに対する活動は、浸透しており、全体としてエコアクション21は、有効に機能していると考えます。																																	

対象となる持続可能な開発目標(SDGs)範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs No.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう	○	廃棄物削減
2	飢餓をゼロに	○	廃棄物削減
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう	○	緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に	○	寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育